

### Ⅲ 県外観光客動態調査

#### 1 概要

##### ● はじめに

観光施策の基礎資料とすることを目的として、高知県内の観光地で四季ごとにアンケート調査を実施し、観光客の動向を把握するとともに調査結果の分析を行った。

調査精度の均一化を図るため、調査の時間帯を10時から17時まで偏りがないように調整しながら、1グループに1名（1回答）を徹底した対面聞き取り方式により調査を実施した。

とりまとめにあたっては、アンケート調査に基づく全般的な傾向等について記載するとともに、それぞれの調査項目について、その特徴的な事項の説明を加えた。

なお、暦年調査のため、参考資料は冬春夏秋の順に表示している。

##### ● 調査場所（10ヶ所）

室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

##### ● 調査時期

- ・ 冬期：平成24年12月22日～平成25年1月14日
- ・ 春期：平成25年4月27日～平成25年5月26日
- ・ 夏期：平成25年7月27日～平成25年8月24日
- ・ 秋期：平成25年10月12日～平成25年11月9日

※冬期のモネの庭、四万十川観光開発遊覧船乗場、夏期のモネの庭では、1日で十分なサンプル数を得ることができず、2日間調査を行っている。

● 平成 25 年度観光統計調査の特徴

**県内旅行日数は前年より 0.1 日増加の 2.1 日。**

日帰り客と宿泊客の割合（表 3-1）は、「2泊3日」が 3.6 ポイント増の 16.9%、「3泊4日」が 1.3 ポイント増の 5.6%、「5泊6日以上」が 0.5 ポイント増の 3.0%、「4泊5日」が 0.1 ポイント増の 2.2%、「1泊2日」が 3.7 ポイント減の 38.2%、「日帰り」が 1.8 ポイント減の 34.1%となっている。結果的に、県内旅行の平均日数（図 5-1）は前年より 0.1 日増加の 2.1 日となっている。

**近畿・関東からの入込割合が増加。**

発地ブロック別入込割合（参考 3）では、近畿・関東からの旅行者が増加しており、「近畿」からの旅行者は、前年に比べて 2.9 ポイント、「関東」は 0.8 ポイント増加している。

また、発地別県内旅行日数割合（参考 8）を見ると、前年に比べ、京都府からの旅行者で「3泊4日」が 10.4 ポイントと大きく増加している。

**平均消費額は 1,008 円の増加。**

県内平均消費額（図 10-1）は、27,073 円で、前年比 1,008 円の増加となっている。その内訳（参考 13）を見ると、「宿泊費」が前年比で 349 円、「交通費」が 293 円、「土産代」が 225 円、入場料を含む「その他」が 76 円、「飲食費」が 65 円増加となった。

また、年代別消費額費目別割合（表 10-4）を前年と比べると、30代が 2,540 円増加しているのが目立って多くなっている。

**旅行形態は「家族」が増加、「友人知人」が減少へ。**

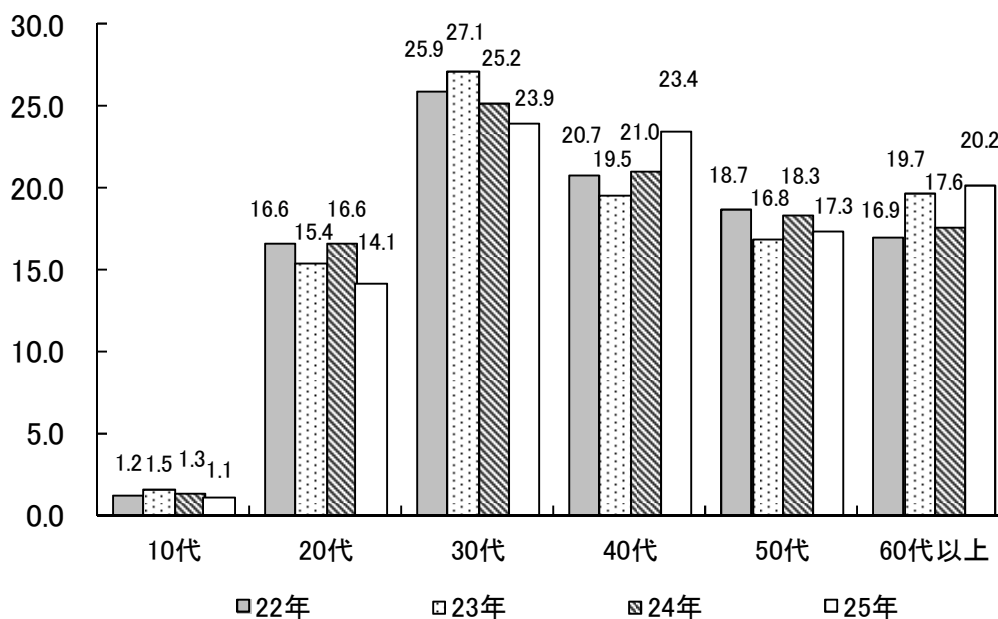
年代別旅行形態割合（表 8-1）が、前年と比較すると「家族」が全体で 4.3 ポイント増加し、「友人知人」が 2.0 ポイント減少となった。年代別に見ると、「家族」がすべての年代で増加、「友人知人」は 10代で 11.9 ポイントと大きく減少している。

## 2 年代別入込割合

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%) [ 25 年、過去 3 年間 ]

年代 \ 年	22年 (n=2967)	23年 (n=2929)	24年 (n=2869)	25年 (n=2873)	対前年比 25年/24年
10 代	36	44	38	31	84.6%
	1.2	1.5	1.3	1.1	
20 代	494	452	476	404	84.9%
	16.6	15.4	16.6	14.1	
30 代	768	794	722	688	94.8%
	25.9	27.1	25.2	23.9	
40 代	615	570	601	672	111.4%
	20.7	19.5	21.0	23.4	
50 代	554	492	526	497	94.5%
	18.7	16.8	18.3	17.3	
60代以上	500	577	506	581	114.8%
	16.9	19.7	17.6	20.2	

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [ 25 年、過去 3 年間 ]



(参考1) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%) [ 25年、過去2年間 ]

年代	年	平成23年 (n=2929)		平成24年 (n=2869)		平成25年 (n=2873)	
		男	女	男	女	男	女
10代		27	17	23	15	20	11
		61.4	38.6	60.5	39.5	64.5	35.5
20代		244	208	269	207	213	191
		54.0	46.0	56.5	43.5	52.7	47.3
30代		446	348	442	280	364	324
		56.2	43.8	61.2	38.8	52.9	47.1
40代		349	221	392	209	384	288
		61.2	38.8	65.2	34.8	57.1	42.9
50代		312	180	329	197	276	221
		63.4	36.6	62.6	37.4	55.5	44.5
60代以上		367	210	335	171	320	261
		63.6	36.4	66.2	33.8	55.1	44.9
計		1745	1184	1790	1079	1577	1296
		59.6	40.4	62.4	37.6	54.9	45.1

年代別旅行者割合をみると、前年と比べ40代、60代以上が増加し、その他の年代で減少した。

平成25年度の年代別割合をみると、30代が23.9%と最も多く、次いで40代の23.4%、60代以上の20.2%となっている。

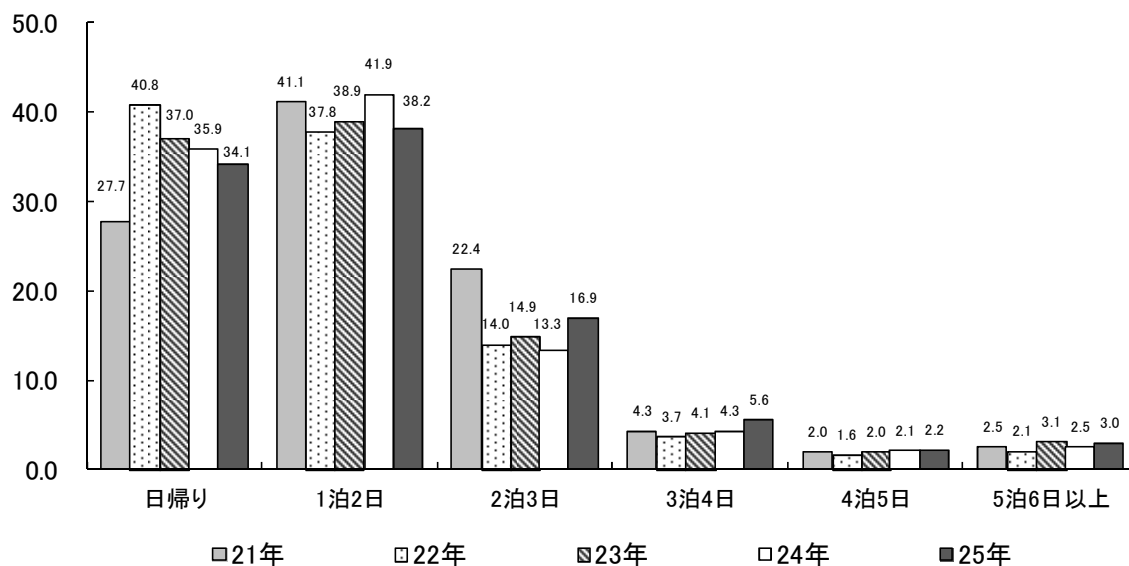
男女比は、男性が54.9%、女性が45.1%となっており、女性の割合が前年調査から7.5ポイント増加している。年代別にみると女性の割合が、10代を除く全ての年代で増加している。

### 3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [ 25年、過去4年間 ]

年	旅行日数					
	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
21年 (n=2362)	655	971	528	102	48	58
	27.7	41.1	22.4	4.3	2.0	2.5
22年 (n=2967)	1212	1123	415	109	47	61
	40.8	37.8	14.0	3.7	1.6	2.1
23年 (n=2929)	1084	1140	437	119	58	91
	37.0	38.9	14.9	4.1	2.0	3.1
24年 (n=2869)	1029	1201	381	125	61	72
	35.9	41.9	13.3	4.3	2.1	2.5
25年 (n=2873)	981	1096	486	162	62	86
	34.1	38.2	16.9	5.6	2.2	3.0

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%) [ 25年、過去4年間 ]



(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [ 25 年、24 年 ]

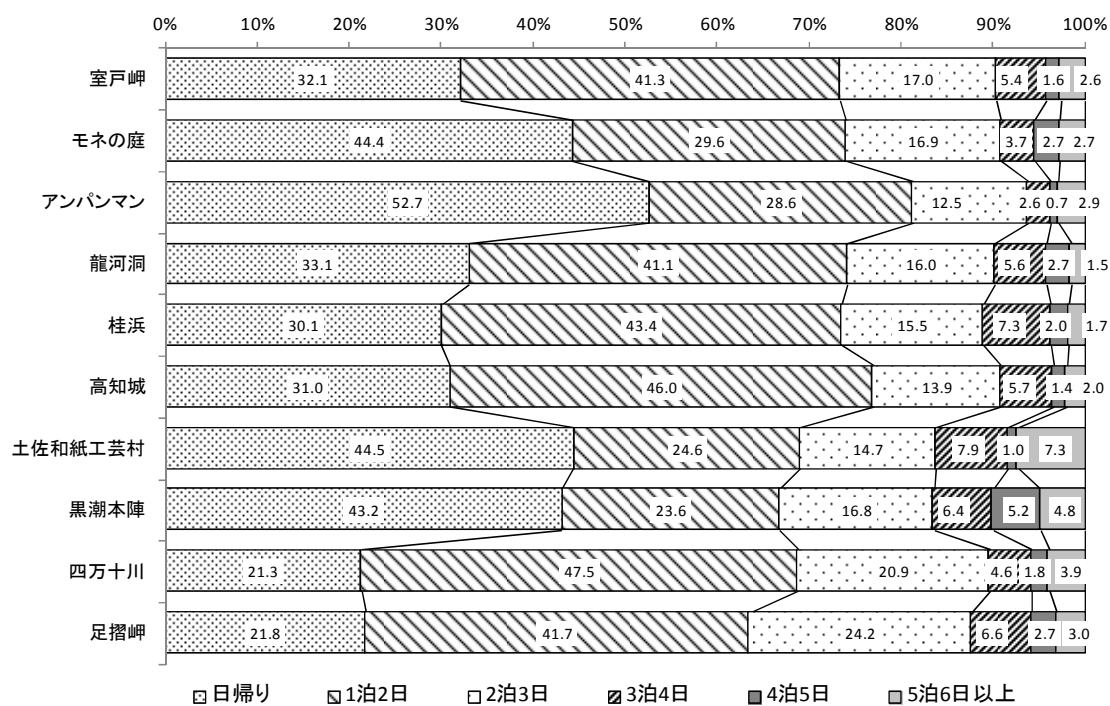
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	24年	217 37.4	242 41.6	64 11.0	30 5.2	14 2.4	14 2.4
	25年	174 27.4	237 37.3	123 19.3	46 7.2	30 4.7	26 4.1
春	24年	305 39.6	319 41.4	94 12.2	22 2.9	13 1.7	17 2.2
	25年	301 40.7	298 40.2	108 14.6	22 3.0	3 0.4	8 1.1
夏	24年	217 28.4	321 42.0	118 15.4	50 6.5	26 3.4	33 4.3
	25年	216 27.4	318 40.3	145 18.4	57 7.2	18 2.3	35 4.4
秋	24年	290 38.5	319 42.4	105 13.9	23 3.0	8 1.1	8 1.1
	25年	290 41.0	243 34.3	110 15.5	37 5.2	11 1.6	17 2.4

日帰り客と宿泊客の割合を平成 21 年度の調査から通してみると、「3泊4日」、「4泊5日」旅行の割合は過去最大となっている。

前年と比べると、「2泊3日」が 3.6 ポイント、「3泊4日」が 1.3 ポイント、「5泊6日以上」が 0.5 ポイント、「4泊5日」が 0.1 ポイント増加し、「1泊2日」が 3.7 ポイント、「日帰り」が 1.8 ポイント減少しており『宿泊客割合の増加』傾向が強まる結果となっている。

四季別データを前年と比べると、冬期は「2泊3日」が前年より 8.3 ポイント増加となり、「日帰り」が 10.0 ポイント減少となっている。春期は「2泊3日」が 2.4 ポイント増加し、「4泊5日」が 1.3 ポイント減少している。夏期は「2泊3日」の割合が 3.0 ポイント増加し、「1泊2日」が 1.7 ポイント減少している。秋期は「日帰り」が 2.5 ポイント増加し、「1泊2日」が 8.1 ポイント減少という結果となっている。

(参考 2) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [ 25 年 ]



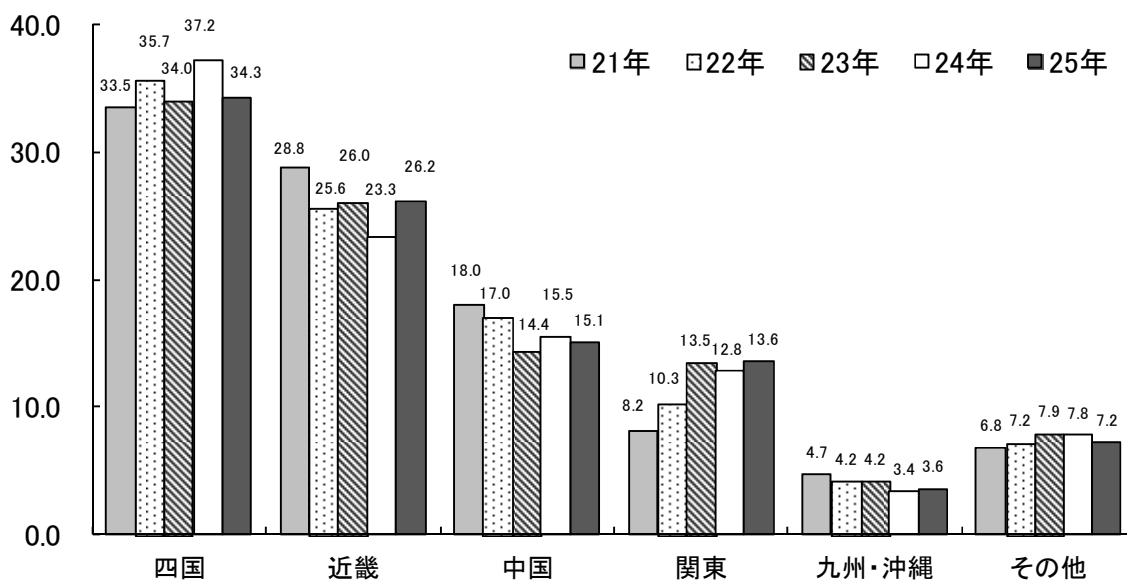
調査地別で日帰り客と宿泊客の割合（参考 2）をみると、アンパンマンミュージアムでは「日帰り」の割合が半数を超え、52.7%を占めている。一方で四万十川、足摺岬では、「日帰り」がおよそ 20%と目立って少なくなっており、足摺岬、黒潮本陣、四万十川、土佐和紙工芸村では「2泊3日」以上の割合が合わせて 30%以上となっている。

## 4 発地ブロック別入込割合

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [ 25 年、過去 4 年間 ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
21年 (n=2362)	791 33.5	679 28.8	426 18.0	193 8.2	111 4.7	162 6.8
22年 (n=2967)	1059 35.7	759 25.6	505 17.0	306 10.3	124 4.2	214 7.2
23年 (n=2929)	995 34.0	762 26.0	423 14.4	395 13.5	124 4.2	230 7.9
24年 (n=2869)	1066 37.2	669 23.3	446 15.5	368 12.8	97 3.4	223 7.8
25年 (n=2873)	985 34.3	754 26.2	435 15.1	392 13.6	102 3.6	205 7.2

(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%) [ 25 年、過去 4 年間 ]

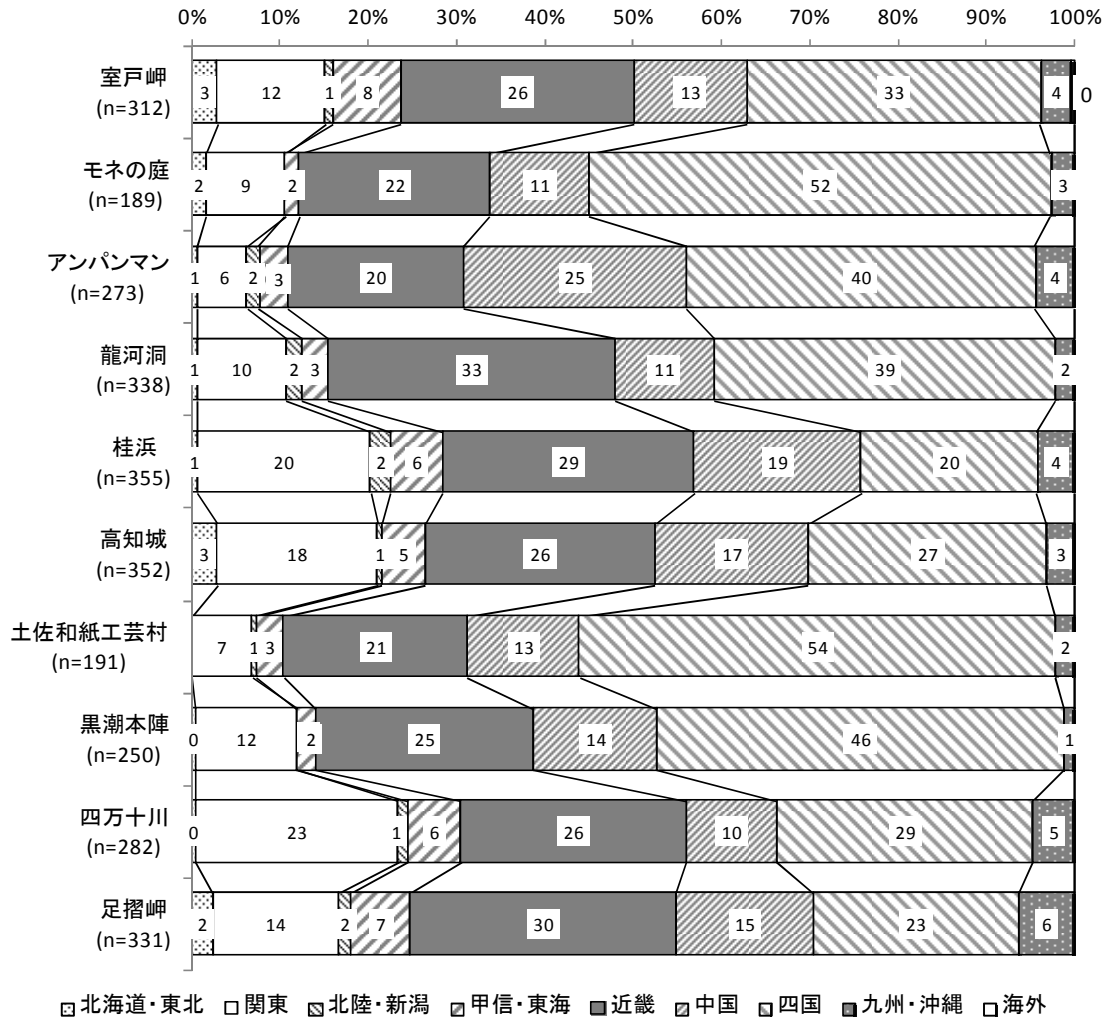




(参考 3) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [ 25 年、過去 4 年間 全地区データ ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
21年	791	679	426	193	111	117	20	20	5	0
(n=2362)	33.5	28.8	18.0	8.2	4.7	5.0	0.8	0.8	0.2	0.0
22年	1059	759	505	306	124	165	26	16	7	0
(n=2967)	35.7	25.6	17.0	10.3	4.2	5.6	0.9	0.5	0.2	0.0
23年	995	762	423	395	124	157	27	21	20	5
(n=2929)	34.0	26.0	14.4	13.5	4.2	5.4	0.9	0.7	0.7	0.2
24年	1066	669	446	368	97	154	32	20	17	0
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	5.4	1.1	0.7	0.6	0.0
25年	985	754	435	392	102	134	32	22	16	1
(n=2873)	34.3	26.2	15.1	13.6	3.6	4.7	1.1	0.8	0.6	0.0

(参考 4) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [ 25 年 ]



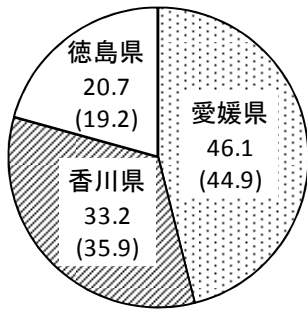
発地ブロック別入込割合を平成 21 年度の調査から通してみると、増加傾向にあった関東からの旅行者の割合が過去最高の 13.6%、近畿からの旅行者は 26.2%と過去 2 番目の多さとなっている（参考 3）。

前年と比べると、近畿が 2.9 ポイント、関東が 0.8 ポイント、九州・沖縄が 0.2 ポイント増加となり、四国が 2.9 ポイント、中国が 0.4 ポイント減少となっている。

調査地別での入込割合を発地ブロック別で見ると（参考 4）、四国からの入込は土佐和紙工芸村が 54%、モネの庭が 52%と半数を超えている。四国・中国・近畿の近隣 3 ブロック合計で占める割合をみると、土佐和紙工芸村が 88%、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣が 85%、龍河洞が 83%と多くなっている。人口の多い関東・近畿ブロック合計では、桂浜、四万十川が 49%と最も多く、次いで高知城、足摺岬が 44%、龍河洞が 43%と続いている。

なお、調査地別の入込割合では、四国が 8 地点、近畿が 2 地点で一位となっている。同二位は、近畿が 7 地点、四国が 2 地点、中国が 1 地点となっている。

(図 4-3) ブロック別・四国(%)

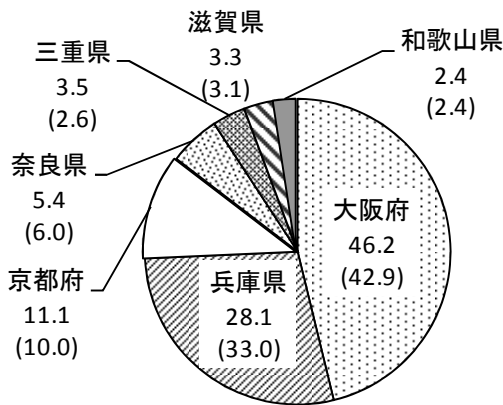


( )内の数値は 24 年

前年と比べ、徳島が 1.5 ポイント、愛媛が 1.2 ポイント増加、香川が 2.7 ポイント減少となっている。

愛媛は全体の入込割合で一位、また 5 つの調査地において入込割合の一位となり、特に土佐和紙工芸村では 41% を占めた。香川は全体の三位、龍河洞で一位となっている。徳島は全体の六位、室戸岬で一位という結果となっている (参考 5)。

(図 4-4) ブロック別・近畿(%)

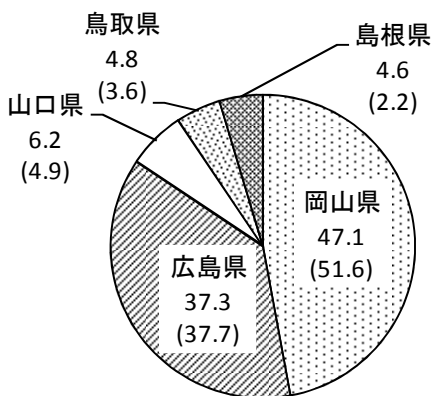


( )内の数値は 24 年

前年と比べ、大阪が 3.3 ポイント、京都が 1.1 ポイント、三重が 0.9 ポイント、滋賀が 0.2 ポイント増加、兵庫が 4.9 ポイント、奈良が 0.6 ポイント減少、和歌山が横ばいとなっている。大阪と兵庫の 2 府県で 74.3% と、近畿ブロックの約四分の三を占めている。

大阪は全体の入込割合で二位、3 つの調査地で一位、3 つの調査地で二位となっている。兵庫は全体の四位、調査地別では桂浜、室戸岬、足摺岬などで多いという結果となっている (参考 5)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



( )内の数値は 24 年

前年と比べ、島根が 2.4 ポイント、山口が 1.3 ポイント、鳥取が 1.2 ポイント増加、岡山が 4.5 ポイント、広島が 0.4 ポイント減少となっている。岡山と広島は共に減少しているが 2 県で 84.4% と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山は全体の入込割合で五位、高知城、アンパンマンミュージアムが多くなっている。広島は全体の八位、足摺岬、アンパンマンミュージアムなどで多いという結果となっている (参考 5)。

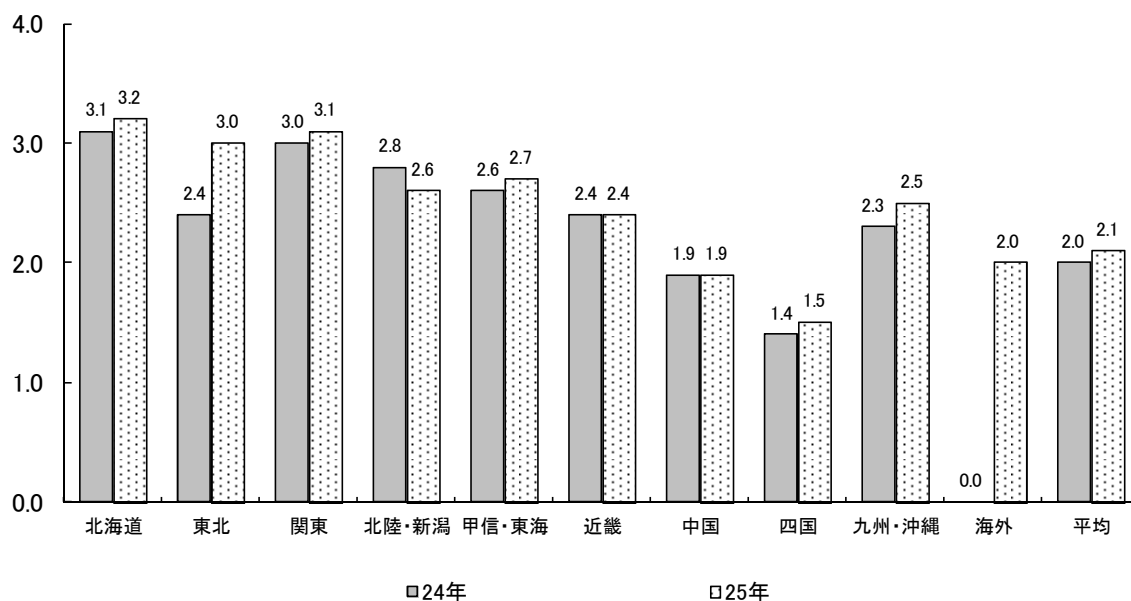
(参考5) 調査地別発地都道府県入込割合(件) [ 25年 ]

調査地		室戸岬	モノの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬	全体	順位
県外合計		312	189	273	338	355	352	191	250	282	331	2873	—
北海道・東北	北海道	3	1	1	0	2	2	0	1	1	5	16	
	青森県	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	
	岩手県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	宮城県	4	1	1	0	0	3	0	0	0	2	11	
	秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	山形県	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	
	福島県	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	
北海道・東北 計		9	3	2	2	2	10	0	1	1	8	38	—
関東	茨城県	0	1	0	0	4	2	0	2	4	0	13	
	栃木県	0	0	0	0	1	3	1	0	3	2	10	
	群馬県	0	1	0	1	1	2	0	0	3	1	9	
	埼玉県	8	0	3	7	13	5	2	6	7	8	59	
	千葉県	7	2	2	5	6	7	2	1	12	3	47	
	東京都	18	11	8	16	26	34	4	11	25	25	178	7
	神奈川県	5	2	2	5	19	11	4	9	11	8	76	11
関東 計		38	17	15	34	70	64	13	29	65	47	392	—
北陸・新潟	新潟県	2	0	0	1	1	1	1	0	2	0	8	
	富山県	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	5	
	石川県	0	0	2	1	4	0	0	0	0	3	10	
	福井県	1	0	2	1	3	1	0	0	0	1	9	
北陸・新潟 計		3	0	4	6	8	2	1	0	3	5	32	—
甲信・東海	山梨県	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	
	長野県	0	0	1	1	2	2	0	1	2	0	9	
	岐阜県	3	0	2	1	4	0	0	0	2	1	13	
	静岡県	3	1	1	3	5	2	0	1	3	4	23	
	愛知県	18	1	5	5	9	13	6	3	10	16	86	9
甲信・東海 計		24	3	9	10	21	17	6	5	17	22	134	—
近畿	三重県	1	1	1	2	7	8	0	0	2	4	26	
	滋賀県	3	1	3	4	1	5	2	2	1	3	25	
	京都府	8	4	10	8	16	7	6	8	9	8	84	10
	大阪府	31	22	26	56	35	46	22	29	34	47	348	2
	兵庫県	30	11	10	29	31	18	10	21	22	30	212	4
	奈良県	7	2	2	3	10	5	0	2	3	7	41	
	和歌山県	2	0	2	8	1	3	0	0	1	1	18	
近畿 計		82	41	54	110	101	92	40	62	72	100	754	—
中国	鳥取県	1	0	3	2	8	2	0	2	1	2	21	
	島根県	2	0	4	2	5	3	1	0	1	2	20	
	岡山県	21	14	31	19	28	32	9	22	13	16	205	5
	広島県	12	6	27	12	23	22	12	10	11	27	162	8
	山口県	4	1	4	3	3	2	2	1	3	4	27	
中国 計		40	21	69	38	67	61	24	35	29	51	435	—
四国	徳島県	40	27	17	31	17	29	3	17	9	14	204	6
	香川県	32	23	38	58	22	31	22	47	23	31	327	3
	愛媛県	32	49	53	42	32	35	78	51	50	32	454	1
四国 計		104	99	108	131	71	95	103	115	82	77	985	—
九州・沖縄	福岡県	2	1	8	3	7	6	3	1	2	9	42	
	佐賀県	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
	長崎県	1	2	2	2	2	1	0	0	0	2	12	
	熊本県	2	2	0	0	3	0	0	0	0	2	9	
	大分県	1	0	1	0	0	2	0	2	6	3	15	
	宮崎県	1	0	1	0	0	1	1	0	0	2	6	
	鹿児島県	1	0	0	1	1	0	0	0	3	3	9	
九州・沖縄 計		11	5	12	7	15	11	4	3	13	21	102	—
海外		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—
高知県		88	211	127	62	45	48	209	150	118	69	1127	—

## 5 旅行日数

### 5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [ 25 年、24 年 ]



25年の県内旅行日数の平均は、前年と比べ0.1日増の2.1日となった。発地ブロック別にみると、北海道、東北、関東、甲信・東海、四国、九州・沖縄で増加、近畿、中国で横ばい、北陸・新潟で減少となっている（海外の項目は少数のため、分析項目としては不適当と判断し除外して比較している）。

入込上位11位までの都道府県別に県内旅行日数の割合をみると（参考6）、関東（東京・神奈川）は「1泊2日」と「2泊3日」で6割前後を占め、愛知と近畿（京都・大阪・兵庫）、中国（岡山・広島）は「1泊2日」が多くなり、四国は「日帰り」が大半を占めている。

都道府県別の旅行日数割合を前年と比べてみると（参考8）、愛知の「2泊3日」、京都の「3泊4日」は大きく増加し、一方、兵庫県の「1泊2日」が大きく減少している。

(参考6) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 25年 上位11位まで ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	9.5	6.6	10.5	14.3	14.1	17.0	41.0	27.2	66.2	62.1	72.0
1泊2日	34.3	31.6	48.8	40.5	48.9	50.0	44.4	52.5	26.4	27.2	20.0
2泊3日	26.4	25.0	30.2	29.7	25.3	21.7	12.2	14.8	4.9	8.6	4.9
3泊4日	12.4	21.0	7.0	11.9	6.3	5.7	1.4	3.1	1.5	1.2	1.5
4泊5日	6.2	7.9	2.3	0.0	1.4	4.2	0.5	0.6	0.0	0.3	0.7
5泊6日以上	11.2	7.9	1.2	3.6	4.0	1.4	0.5	1.8	1.0	0.6	0.9

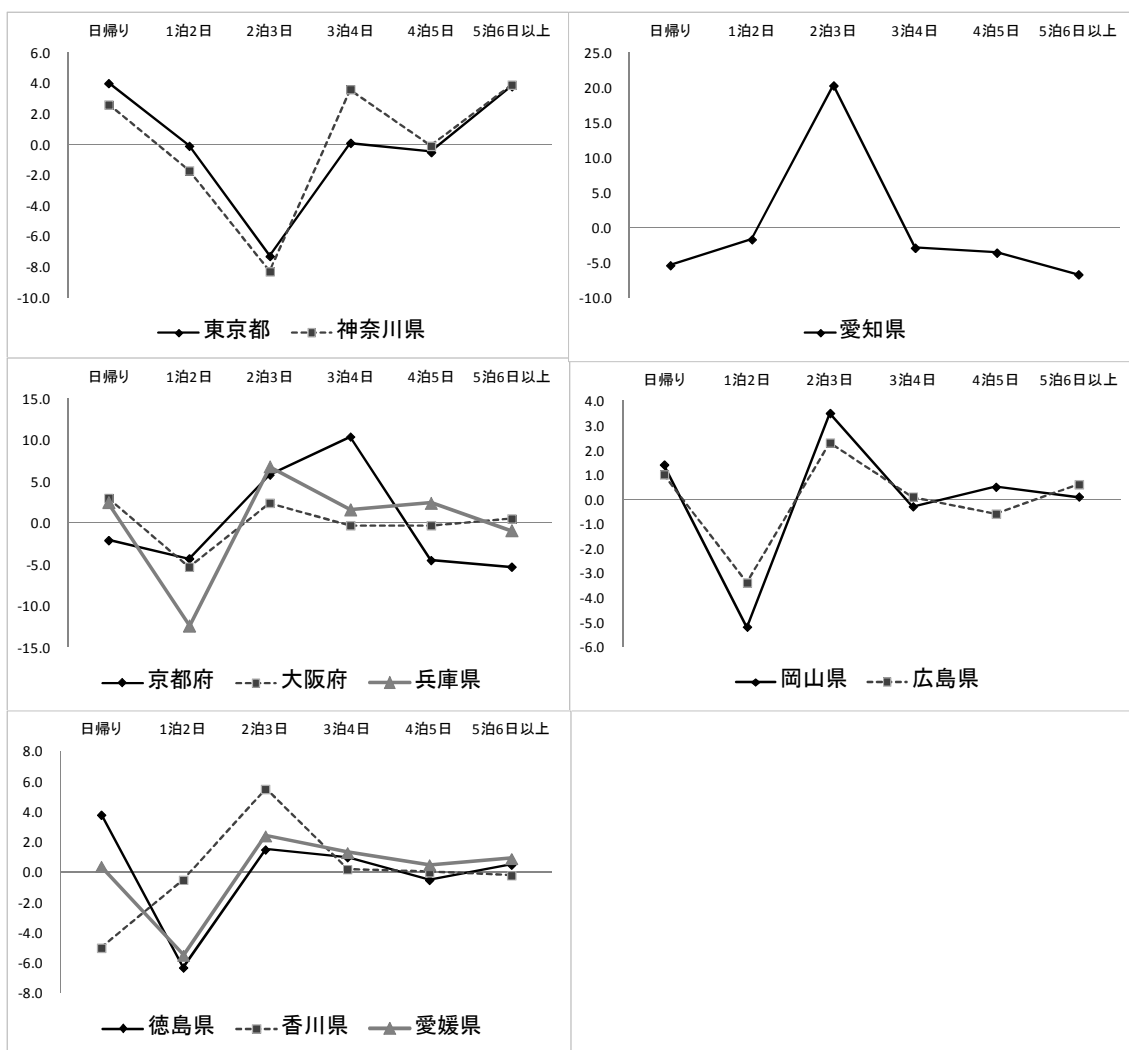
(参考 7) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 24 年 上位 11 位まで ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	5.5	4.0	15.9	16.4	11.1	14.5	39.6	26.2	62.4	67.1	71.6
1泊2日	34.4	33.3	50.5	44.8	54.2	62.4	49.6	55.9	32.7	27.7	25.5
2泊3日	33.7	33.3	9.9	23.9	22.9	14.9	8.7	12.5	3.4	3.1	2.5
3泊4日	12.3	17.4	9.9	1.5	6.6	4.1	1.7	3.0	0.5	1.0	0.2
4泊5日	6.7	8.0	5.9	4.5	1.7	1.8	0.0	1.2	0.5	0.3	0.2
5泊6日以上	7.4	4.0	7.9	8.9	3.5	2.3	0.4	1.2	0.5	0.8	0.0

(参考 8) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 25 年と 24 年の差 ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	4.0	2.6	-5.4	-2.1	3.0	2.5	1.4	1.0	3.8	-5.0	0.4
1泊2日	-0.1	-1.7	-1.7	-4.3	-5.3	-12.4	-5.2	-3.4	-6.3	-0.5	-5.5
2泊3日	-7.3	-8.3	20.3	5.8	2.4	6.8	3.5	2.3	1.5	5.5	2.4
3泊4日	0.1	3.6	-2.9	10.4	-0.3	1.6	-0.3	0.1	1.0	0.2	1.3
4泊5日	-0.5	-0.1	-3.6	-4.5	-0.3	2.4	0.5	-0.6	-0.5	0.0	0.5
5泊6日以上	3.8	3.9	-6.7	-5.3	0.5	-0.9	0.1	0.6	0.5	-0.2	0.9

(参考 9) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 25 年と 24 年の差 ]



## 5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数〔加重平均〕(日)〔25年、過去4年間〕

年代 \ 年	21年	22年	23年	24年	25年
10代	2.0	2.0	2.1	2.7	2.0
20代	2.1	1.9	2.1	2.0	2.1
30代	2.3	2.0	2.0	2.0	2.2
40代	2.3	2.0	2.1	2.1	2.2
50代	2.1	1.8	1.9	1.9	2.0
60代以上	2.1	1.9	2.1	2.0	2.1
全体	2.2	1.9	2.0	2.0	2.1

年代別の県内旅行日数は、10代を除く全ての年代で増加している。

前年と比べると、30代で0.2日、20代、40代、50代、60代以上で0.1日増加しており、10代で0.7日減少となっている。

## 6 旅行形態別旅行目的割合

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%) [ 25 年、過去 2 年間 ]

		自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏 霊場巡り	その他
1人	23年 (n=298)	24.8	14.1	1.7	2.7	12.8	43.9
	24年 (n=262)	14.9	21.4	3.4	1.9	4.6	53.8
	25年 (n=275)	25.5	11.6	3.3	5.1	8.0	46.5
家族	23年 (n=2101)	28.3	34.6	4.4	7.0	3.4	22.3
	24年 (n=1842)	17.1	34.5	7.1	10.1	3.3	27.9
	25年 (n=1969)	22.1	31.4	5.7	13.3	2.9	24.6
友人 知人	23年 (n=474)	27.8	26.4	4.0	10.8	1.3	29.7
	24年 (n=588)	18.9	22.6	9.4	11.2	1.5	36.4
	25年 (n=532)	27.1	19.7	4.7	19.2	2.4	26.9
団体	23年 (n=24)	8.3	50.0	4.2	4.2	8.3	25.0
	24年 (n=79)	8.9	25.3	15.2	5.1	0.0	45.5
	25年 (n=58)	24.1	20.7	6.9	10.3	6.9	31.1
その他	23年 (n=32)	9.4	21.9	0.0	0.0	9.4	59.3
	24年 (n=98)	18.4	19.4	6.1	17.4	1.0	37.7
	25年 (n=39)	10.3	10.2	7.7	25.6	2.6	43.6
全体	23年 (n=2929)	27.5	31.1	4.0	7.1	4.1	26.2
	24年 (n=2869)	17.1	30.1	7.4	9.7	2.9	32.8
	25年 (n=2873)	23.2	26.9	5.4	13.7	3.4	27.4

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡」が前年から 3.2 ポイント減少したものの 26.9%と最も多く、次いで「自然見物」が 6.1 ポイント増の 23.2%、「食べ物」が 4.0 ポイント増の 13.7%となっており、その他の項目では、「帰省・仕事」が 0.2 ポイント減の 9.8%、「なんとなく（ドライブを含む）」が 4.2 ポイント減の 5.5%（参考 10）となっている。

旅行形態別に旅行目的を前年と比べると、“一人旅”の「自然見物」が 10.6 ポイント、「霊場巡り」が 3.4 ポイント増加し、「名所旧跡」が 9.8 ポイント減少となっている。“家族旅行”では、「自然見物」が 5.0 ポイント増加となり、“友人・知人との旅行”でも、「自然見物」が 8.2 ポイント増加となっている。



(参考 10) 旅行形態別旅行目的割合(%) [ 25 年、過去 2 年間 全項目 ]

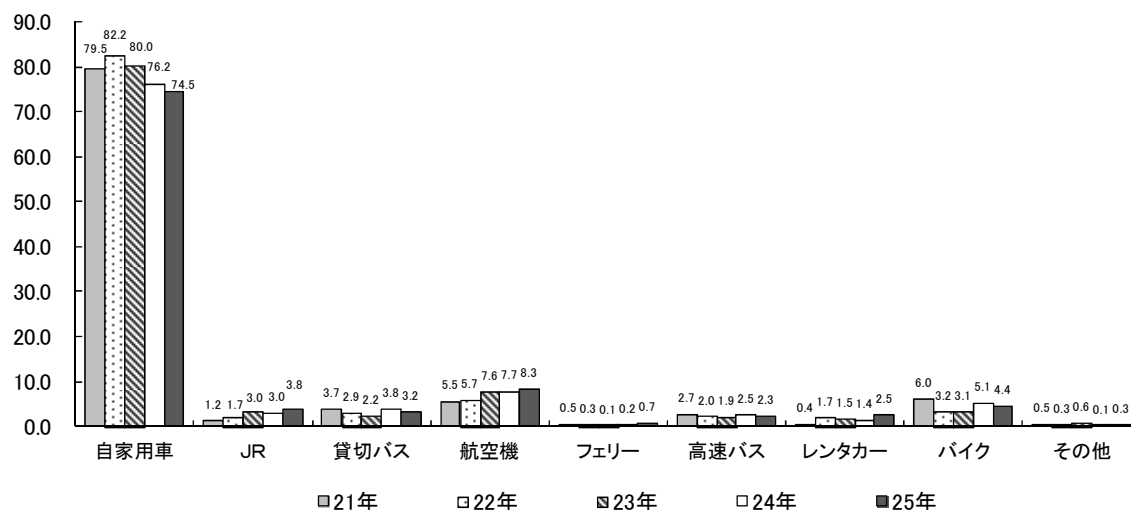
		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	23年	24.8	1.7	3.7	1.0	0.7	2.7	12.8	0.3	14.1	15.4	20.8	2.0
	24年	14.9	3.4	5.3	2.3	1.1	1.9	4.6	0.0	21.4	17.6	21.0	6.5
	25年	25.5	3.3	4.3	4.0	4.3	5.1	8.0	0.4	11.6	11.6	18.6	3.3
家族	23年	28.3	4.4	2.7	2.2	0.4	7.0	3.4	1.1	34.6	5.9	8.5	1.5
	24年	17.1	7.1	4.2	2.3	0.2	10.1	3.3	2.2	34.5	6.3	9.9	2.8
	25年	22.1	5.7	2.4	4.4	0.6	13.3	2.9	1.6	31.4	3.5	10.5	1.6
友人 知人	23年	27.8	4.0	4.6	3.0	0.4	10.8	1.3	0.6	26.4	14.4	6.3	0.4
	24年	18.9	9.4	5.9	3.1	1.4	11.2	1.5	1.0	22.6	15.1	5.3	4.6
	25年	27.1	4.7	4.9	5.6	0.9	19.2	2.4	0.6	19.7	9.8	3.0	2.1
団体	23年	8.3	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	50.0	0.0	16.6	0.0
	24年	8.9	15.2	1.3	1.3	2.5	5.1	0.0	1.2	25.3	12.7	20.2	6.3
	25年	24.1	6.9	5.2	3.5	17.2	10.3	6.9	0.0	20.7	0.0	1.7	3.5
その他	23年	9.4	0.0	6.2	0.0	6.2	0.0	9.4	0.0	21.9	3.1	31.3	12.5
	24年	18.4	6.1	11.2	3.1	1.0	17.4	1.0	0.0	19.4	16.3	1.0	5.1
	25年	10.3	7.7	2.6	2.6	5.1	25.6	2.6	0.0	10.2	12.8	20.5	0.0
全体	23年	27.5	4.0	3.1	2.2	0.5	7.1	4.1	1.0	31.1	8.2	9.7	1.5
	24年	17.1	7.4	4.8	2.4	0.6	9.7	2.9	1.6	30.1	9.7	10.0	3.7
	25年	23.2	5.4	3.1	4.6	1.4	13.7	3.4	1.2	26.9	5.5	9.8	1.8

## 7 入込利用交通機関割合

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%) [ 25年、過去4年間 ]

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
21年 (n=2362)	1877 79.5	29 1.2	88 3.7	129 5.5	12 0.5	63 2.7	9 0.4	143 6.0	12 0.5
22年 (n=2967)	2439 82.2	51 1.7	87 2.9	168 5.7	8 0.3	60 2.0	49 1.7	95 3.2	10 0.3
23年 (n=2929)	2344 80.0	86 3.0	65 2.2	221 7.6	4 0.1	56 1.9	45 1.5	91 3.1	17 0.6
24年 (n=2869)	2186 76.2	86 3.0	108 3.8	222 7.7	5 0.2	70 2.5	41 1.4	147 5.1	4 0.1
25年 (n=2873)	2140 74.5	110 3.8	91 3.2	239 8.3	19 0.7	66 2.3	73 2.5	127 4.4	8 0.3

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [ 25年、過去4年間 ]



主要観光地における入込利用交通機関は、今回の調査でも「自家用車」が74.5%と大半を占めたが、前年の76.2%からは1.7ポイント減少している。一方で、前年と比べて増加したのは「レンタカー」が1.1ポイント増の2.5%、「JR」が0.8ポイント増の3.8%となった。その他は、「航空機」が0.6ポイント増の8.3%、「フェリー」が0.5ポイント増の0.7%となっている。

## 8 旅行形態割合

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [ 25 年、24 年 ]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	24年 (n=38)	21.0	55.3	18.4	0.0	5.3
	25年 (n=31)	9.7	80.6	6.5	3.2	0.0
20 代	24年 (n=476)	8.8	34.4	44.8	3.4	8.6
	25年 (n=404)	10.1	37.1	47.8	1.5	3.5
30 代	24年 (n=722)	8.2	64.8	20.5	2.8	3.7
	25年 (n=688)	9.6	70.8	16.0	1.6	2.0
40 代	24年 (n=601)	12.3	70.9	11.5	3.3	2.0
	25年 (n=672)	10.3	74.3	12.8	1.9	0.7
50 代	24年 (n=526)	8.0	73.8	13.9	3.0	1.3
	25年 (n=497)	10.9	74.2	13.9	1.0	0.0
60代以上	24年 (n=506)	7.3	74.1	15.4	1.4	1.8
	25年 (n=581)	7.2	75.6	12.4	3.8	1.0
全 体	24年 (n=2869)	9.1	64.2	20.5	2.8	3.4
	25年 (n=2873)	9.6	68.5	18.5	2.0	1.4

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [ 25 年、24 年 ]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	24年 (n=38)	21.0	47.4	26.3	5.3	0.0
	25年 (n=31)	9.7	38.7	35.5	9.7	6.4
20 代	24年 (n=476)	8.8	72.6	14.5	3.6	0.5
	25年 (n=404)	10.2	70.0	14.6	4.5	0.7
30 代	24年 (n=722)	8.2	60.4	24.6	6.4	0.4
	25年 (n=688)	9.6	54.9	28.9	5.7	0.9
40 代	24年 (n=601)	12.3	54.1	27.8	5.0	0.8
	25年 (n=672)	10.3	56.3	26.9	5.8	0.7
50 代	24年 (n=526)	8.0	66.5	18.3	5.7	1.5
	25年 (n=497)	10.9	65.4	17.1	6.0	0.6
60代以上	24年 (n=506)	7.3	66.0	16.4	8.5	1.8
	25年 (n=581)	7.2	62.7	14.8	11.2	4.1
全 体	24年 (n=2869)	9.1	63.1	21.0	5.9	0.9
	25年 (n=2873)	9.6	60.6	21.6	6.7	1.5

(参考 11) 年代別旅行形態・同行者数割合(件) [ 25 年 ]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	3	10	11	3	1	2							1				
20代	41	99	38	13		168	19	5	1	2	2		2	14			
30代	66	270	186	30	1	92	12	6		3	1	3	4	13			1
40代	69	305	163	31		67	15	4		3	2	3	5	3	1	1	
50代	54	286	63	20		39	22	8				2	3				
60代以上	42	318	76	43	2	42	10	16	4	2		5	15	2		1	3

(参考 12) 年代別旅行形態・同行者数割合(%) [ 25 年と 24 年の差 ]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	-11.4	5.9	11.8	4.4	3.2	-12.0							3.2	-2.6	-2.6		
20代	1.3	-0.9	2.1	1.5		4.8	-2.0	0.2	0.0	-1.6	0.1	-0.6	0.3	-4.9		-0.2	
30代	1.4	0.9	5.7	-0.8	0.1	-3.9	-0.2	-0.4		-0.7	-1.2	0.4	0.3	-1.7			0.0
40代	-2.0	4.3	-2.0	1.5	-0.3	0.8	1.1	-0.4	-0.2	-2.0	-0.0	0.1	0.6	-0.9	0.1	-0.4	-0.2
50代	2.9	0.9	-0.6	0.6	-0.4	-0.1	0.2	0.3	-0.4	-1.7	-0.4	-0.2	0.2	-0.2	-0.4	-0.4	-0.4
60代以上	-0.1	-3.0	2.0	2.5	-0.1	-0.3	-3.2	0.6	-0.1	0.1	-0.2	0.1	2.4	-0.2	-0.2	-0.4	0.1

※ 各年代ごとに合計 100%になるよう割合を算出し、25 年の割合から 24 年の割合を差し引いたもの。

旅行形態割合は、全体では「1人」が前年比 0.5 ポイント増の 9.6%、「家族」が 4.3 ポイント増の 68.5%、「友人知人」が 2.0 ポイント減の 18.5%、「団体」が 0.8 ポイント減の 2.0%となっている。

同行者数割合を前年と比べると、全体では「2~3人」が前年比 2.5 ポイント減の 60.6%、「4~5人」が 0.6 ポイント増の 21.6%、「6~10人」が 0.8 ポイント増の 6.7%、「11人以上」が 0.6 ポイント増の 1.5%となっている。

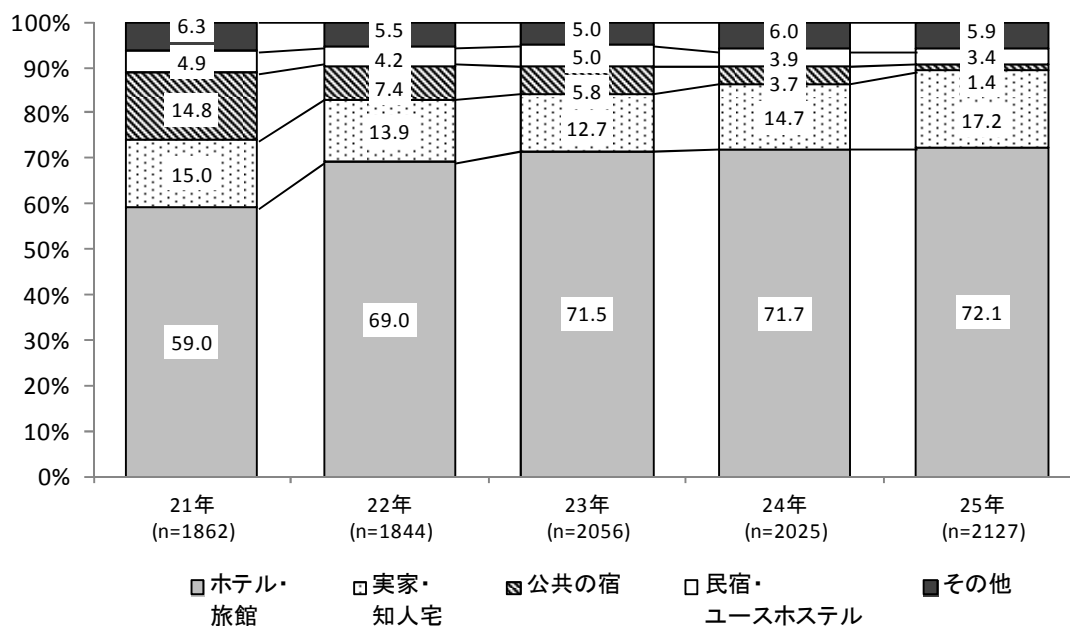
年代別に旅行形態と同行者数の関係をみると(参考 11)、10代では「2~3人」、または「4~5人」の家族旅行で大半を占め、20代で多い組み合わせは「2~3人」の友人との旅行、または「2~3人」の家族旅行となっている。30代は「2~3人」の家族旅行が多く、次に「4~5人」の家族旅行、「2~3人」の友人との旅行と続いている。40代は「2~3人」、または「4~5人」の家族旅行が大半、50代と60代以上は「2~3人」の家族旅行が大半を占めている。

前年との差をみると、10代の「2~3人」の友人との旅行が 12.0 ポイント減少しており、次いで10代の「1人」が 11.4 ポイント、20代の「2~3人」のその他旅行が 4.9 ポイント、30代の「2~3人」の友人との旅行が 3.9 ポイント減少となっている。一方で、10代の「4~5人」の家族旅行が 11.8 ポイント増加しており、次いで10代の「2~3人」の家族旅行が 5.9 ポイント、30代の「4~5人」の家族旅行が 5.7 ポイント増加となっている。

## 9 宿泊施設割合

### 9.1 年間

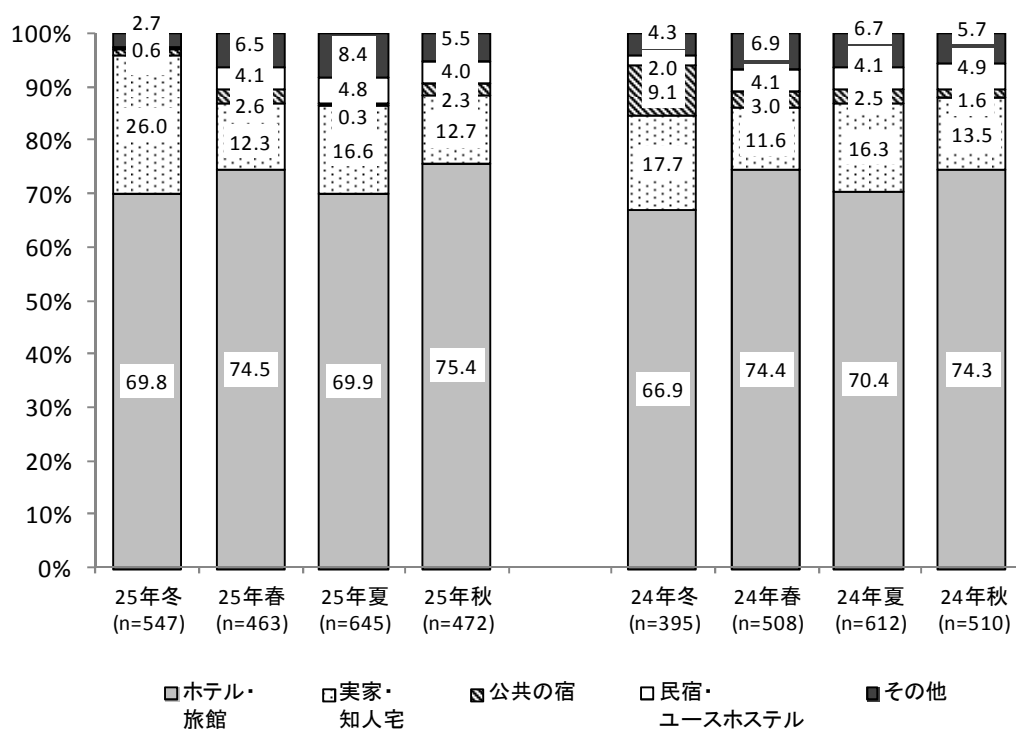
(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%) [ 25 年、過去 4 年間 ]



県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が過去最高の 72.1%で最も多くなった。次いで「実家・知人宅」が 17.2%、「民宿・ユースホステル」が 3.4%、「公共の宿」が 1.4%、「その他」が 5.9%となっている。

## 9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%) [ 25 年、24 年 ]



四季別県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間を通じて最も多くなっている。

前年と比べると、冬期は「実家・知人宅」の割合が 8.3 ポイント増加している。また、「ホテル・旅館」が 2.9 ポイント増加、「公共の宿」が 8.5 ポイント減少している。

春期は「実家・知人宅」が 0.7 ポイント増加し、「公共の宿」、「その他」が 0.4 ポイント減少している。

夏期は「その他」が 1.7 ポイント、「民宿・ユースホステル」が 0.7 ポイント増加し、「公共の宿」が 2.2 ポイント減少している。

秋期は「ホテル・旅館」が 1.1 ポイント、「公共の宿」が 0.7 ポイント増加し、「民宿・ユースホステル」が 0.9 ポイント減少している。

### 9.3 年代別宿泊施設割合

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%) [ 25 年、24 年 ]

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
10 代	24年 (n=28)	42.9	42.9	0.0	7.1	7.1
	25年 (n=19)	68.4	21.1	0.0	0.0	10.5
20 代	24年 (n=335)	69.3	15.2	2.7	3.6	9.2
	25年 (n=292)	69.9	24.3	0.0	1.4	4.4
30 代	24年 (n=490)	73.7	13.7	2.0	3.9	6.7
	25年 (n=508)	70.3	18.9	0.8	3.1	6.9
40 代	24年 (n=449)	71.3	17.4	4.0	3.3	4.0
	25年 (n=527)	71.2	17.1	0.2	4.3	7.2
50 代	24年 (n=374)	73.5	13.4	4.6	3.7	4.8
	25年 (n=343)	73.5	17.2	0.9	4.3	4.1
60代以上	24年 (n=349)	72.2	11.5	5.7	4.9	5.7
	25年 (n=438)	76.0	10.5	5.0	3.2	5.3

年代別利用宿泊施設割合を前年と比べると、「ホテル・旅館」の割合は、10代が25.5ポイント、60代以上が3.8ポイント、20代が0.6ポイント増加となっている。「実家・知人宅」は、10代、40代、60代以上で減少し、「公共の宿」は利用の無かった10代を除く全ての年代で減少した。「民宿・ユースホステル」は、40代、50代を除く全ての年代で減少している。

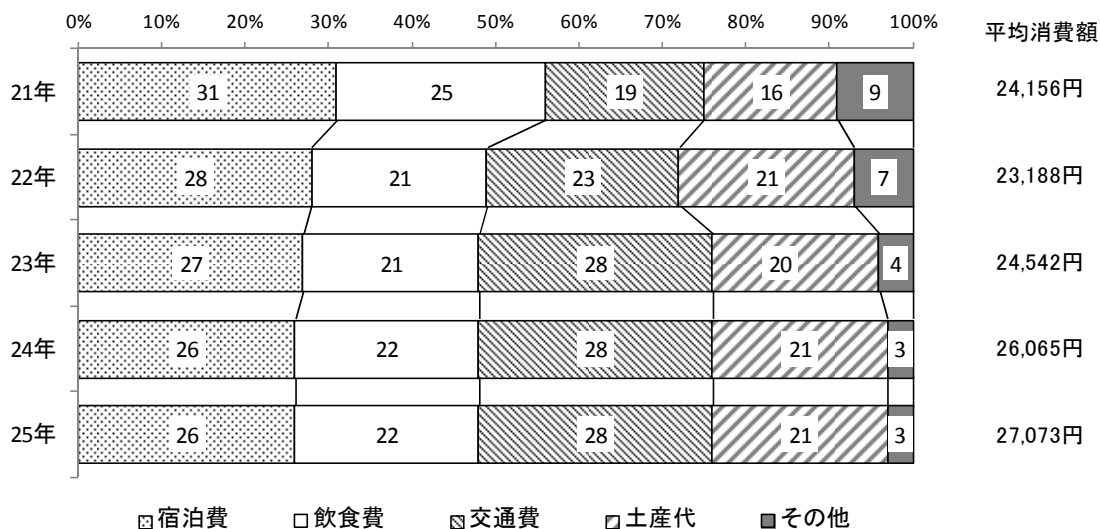
サンプル数の少ない10代を除く年代では、前年比で10ポイント以上の増減はなく、前年と同様の傾向となっている。

## 10 県内消費額

### 10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

#### 10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [ 25年、過去4年間 ]



(参考 13) 県内平均消費額費目別内訳(円) [ 25年、過去2年間 ]

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
23年	6,540	5,064	6,990	4,911	1,037
24年	6,679	5,858	7,315	5,458	755
25年	7,028	5,923	7,608	5,683	831

県内消費額の年間平均金額は、前年と比べ1,008円の増加で27,073円と、平成21年度以降の5年間で最高となった。費目別の割合では、「宿泊費」、「飲食費」、「交通費」、「土産代」が最高となっている。割合を前年と比べた場合は、いずれの費目も横ばいで大きな変化はなかった。

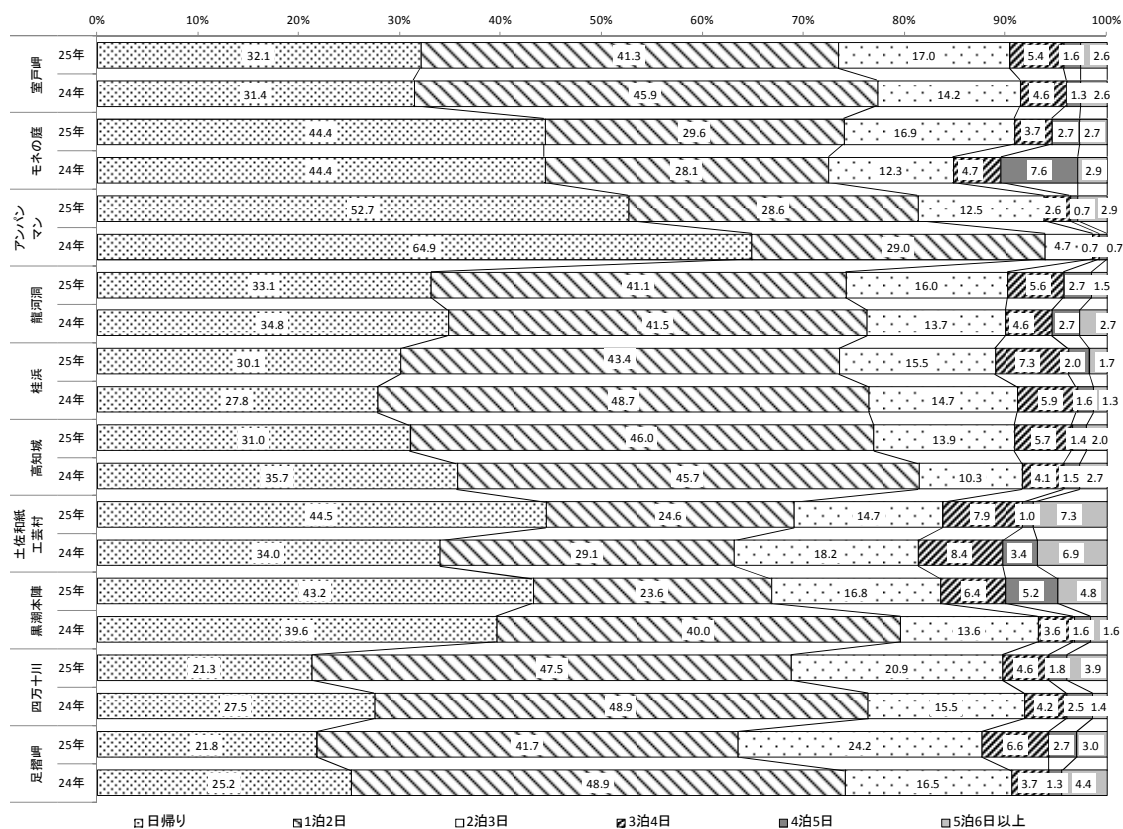
費目別の平均消費額をみると(参考13)、「宿泊費」が349円、「飲食費」が65円、「交通費」が293円、「土産代」が225円、「その他」が76円増加という結果となっている。



(参考 14) 調査地別県内平均消費額(円) [ 25 年、24 年 ]

調査地	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
24年	28,127	24,571	17,381	27,321	28,903	26,150	29,094	24,671	25,213	28,674
25年	26,304	24,196	23,245	25,557	30,178	27,978	22,312	23,729	33,001	31,864
前年との差	▲ 1,823	▲ 375	5,864	▲ 1,764	1,275	1,828	▲ 6,782	▲ 942	7,788	3,190

(参考 15) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [ 25 年、24 年 ]



調査地別の年間平均消費額は(参考 14)、「四万十川」が 33,001 円で最も高く、「土佐和紙工芸村」が 22,312 円で最も低くなった。

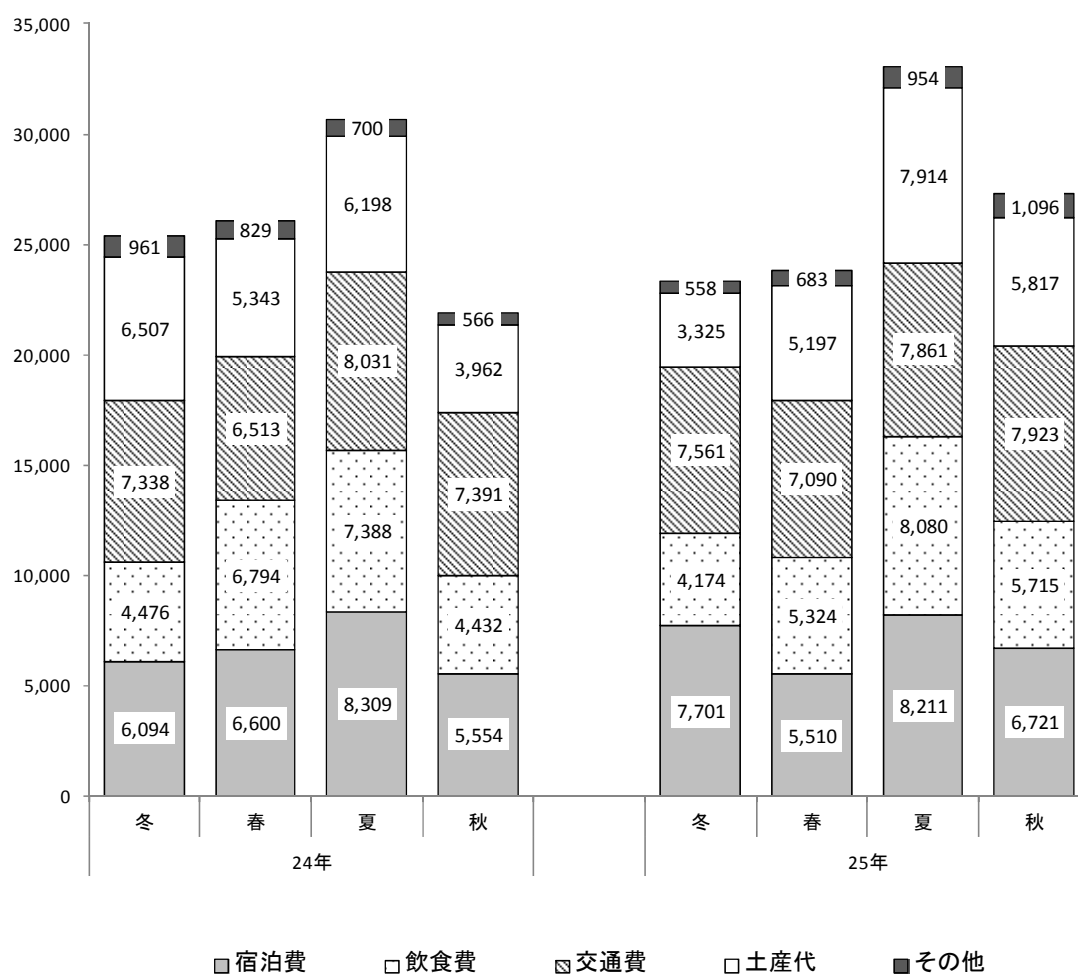
前年と比べると、「四万十川」は日帰り客の割合が減少し、宿泊客が増加している(参考 15)。それが、平均消費額を引き上げた要因になっていると思われる。一方で、日帰り客の割合が増加した「土佐和紙工芸村」では平均消費額が昨年と比べ低くなっている。

### 10.1.2 四季別

(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [ 25 年、24 年 ]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	24年	24	18	29	25	4	25,376	▲ 2,057円
	25年	33	18	32	14	2	23,319	
春	24年	25	26	25	21	3	26,079	▲ 2,275円
	25年	23	22	30	22	3	23,804	
夏	24年	27	24	26	20	3	30,626	2,394円
	25年	25	24	24	24	3	33,020	
秋	24年	25	20	34	18	3	21,905	5,367円
	25年	25	21	29	21	4	27,272	

(図 10-3) 四季別県内消費額費目別平均消費額(円) [ 25 年、24 年 ]



四季別の平均消費額を前年と比べると、秋期は5,367円、夏期は2,394円増加し、春期は2,275円、冬期は2,057円減少している。

それぞれの費目で割合が最も多くなった時期は、「宿泊費」と「交通費」が冬期、「飲食費」と「土産代」が夏期、「その他」が秋期となっている。また、それぞれの費目の消費額が最も高くなった時期は、「宿泊費」、「飲食費」、「土産代」は夏期、「交通費」、「その他」は秋期という結果となっている。

(参考)動態調査による県外観光客一人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H25	H24	H23	H22	(H22～24平均)
県外観光客総数(人)	4,071,766	3,839,714	3,882,268	4,359,415	4,027,132
県外観光客一人当たり消費額(円)	27,073	26,064	24,542	23,188	24,598
<内訳> 宿泊費	7,028	6,679	6,540	6,490	6,570
飲食費	5,923	5,858	5,064	4,948	5,290
交通費	7,608	7,315	6,990	5,345	6,550
土産	5,683	5,458	4,911	4,909	5,093
その他	831	754	1,037	1,496	1,096
県外観光客の総消費額(百万円)	110,234	100,078	95,278	101,086	98,814
生産誘発効果(百万円)	167,434	152,004	144,705	153,421	150,043
生産誘発倍率(倍)	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52

## 10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [ 25 年、24 年 ]

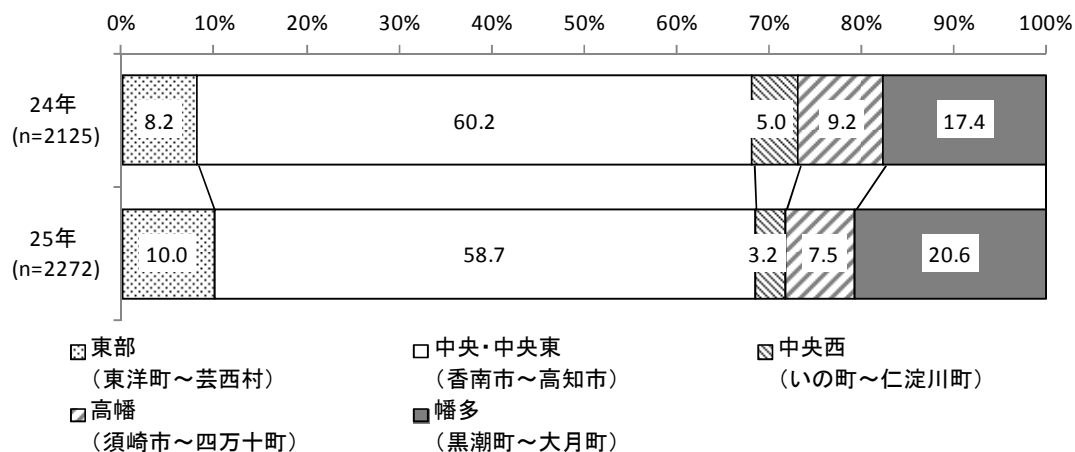
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10 代	24年	26	24	30	17	3	22,778円	▲ 578円
	25年	25	21	26	20	9	22,200円	
20 代	24年	23	23	32	18	4	22,415円	1,883円
	25年	22	23	32	19	4	24,297円	
30 代	24年	25	24	28	20	3	25,142円	2,540円
	25年	25	23	28	20	3	27,682円	
40 代	24年	27	21	29	20	3	28,719円	▲ 997円
	25年	27	22	28	19	3	27,722円	
50 代	24年	26	22	26	24	2	25,669円	▲ 143円
	25年	27	21	27	23	3	25,526円	
60代以上	24年	27	23	26	22	2	28,564円	734円
	25年	28	19	27	24	2	29,298円	

年代別の平均消費額は、前年と比較して 30 代が 2,540 円増加しているのが目立っている。

費目別の割合を前年と比較すると、「宿泊費」は 50 代以上が増加、20 代以下が減少、30 代と 40 代が横ばいとなっている。「飲食費」は 40 代が増加、20 代が横ばいとなり、その他のすべての年代で減少している。「交通費」は 50 代以上が増加、10 代と 40 代が減少、20 代と 30 代で横ばいとなっている。「土産代」は 10 代、20 代、60 代以上で増加、30 代で横ばいとなり、その他の年代で減少している。「その他」は 10 代と 50 代が増加し、その他年代で横ばいという結果となっている。

## 11 宿泊地域割合

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [ 25 年、24 年 ]



県内での宿泊地域の割合は、「中央・中央東」が前年比 1.5 ポイント減少となったが、58.7%で最も多くなっている。次いで「幡多」が 3.2 ポイント増の 20.6%、「東部」が 1.8 ポイント増の 10.0%、「中央西」が 1.8 ポイント減の 3.2%、「高幡」が 1.7 ポイント減の 7.5%となっている。

(表 11-2) 調査地別県内宿泊地域割合(%) [ 25 年 ]

	東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多
室戸岬	<b>33.6</b>	8.6	<b>45.1</b>	1.2	3.7	7.8
モネの庭	<b>28.8</b>	9.3	<b>55.9</b>	0.9	3.4	1.7
アンパンマン	7.3	<b>16.0</b>	<b>57.7</b>	5.1	4.4	9.5
龍河洞	11.2	<b>14.2</b>	<b>60.8</b>	1.9	4.1	7.8
桂浜	6.1	6.9	<b>73.0</b>	1.8	3.6	<b>8.6</b>
高知城	<b>9.4</b>	7.5	<b>71.1</b>	1.1	3.0	7.9
土佐和紙工芸村	2.3	6.8	<b>46.6</b>	<b>23.3</b>	13.5	7.5
黒潮本陣	2.6	3.7	<b>43.5</b>	2.1	<b>34.0</b>	14.1
四万十川	3.1	3.5	<b>30.8</b>	1.9	6.1	<b>54.6</b>
足摺岬	3.7	4.0	<b>33.7</b>	2.4	6.4	<b>49.8</b>
全体	10.0	7.5	51.2	3.2	7.5	20.6

※背景色+太字は調査地別県内宿泊地域ごとの上位2位まで。

(表 11-3)調査地別県内利用宿泊施設割合(%) [ 25 年 ]

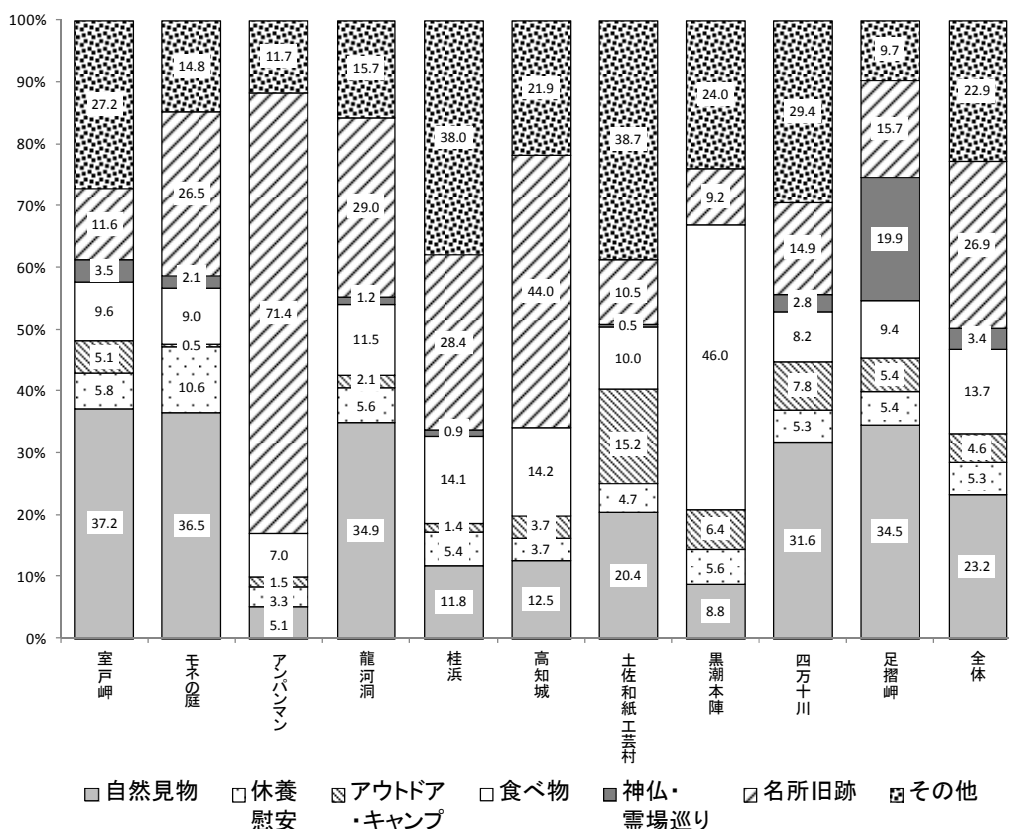
	ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ ユースホステル	その他
室戸岬	<b>73.4</b>	<b>13.7</b>	0.9	3.4	8.6
モネの庭	<b>68.6</b>	<b>25.0</b>	2.4	0.8	3.2
アンパンマン	<b>74.6</b>	<b>20.9</b>	2.2	1.5	0.8
龍河洞	<b>73.8</b>	<b>19.8</b>	0.8	2.0	3.6
桂浜	<b>76.6</b>	<b>17.8</b>	1.5	3.0	1.1
高知城	<b>81.8</b>	<b>12.9</b>	0.8	1.1	3.4
土佐和紙工芸村	<b>47.1</b>	<b>26.0</b>	4.2	7.6	15.1
黒潮本陣	<b>64.1</b>	<b>27.1</b>	0.0	2.6	6.2
四万十川	<b>75.3</b>	<b>13.8</b>	0.8	3.4	6.7
足摺岬	<b>70.3</b>	9.3	2.3	7.4	<b>10.7</b>
全体	72.1	17.2	1.4	3.4	5.9

※背景色＋太字は調査地別県内宿泊施設ごとの上位2位まで。

## 12 調査地別割合

### 12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [ 25 年 ]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [ 25 年 ]

	自然見物	休養慰安	アウトドア・キャンプ	食べ物	神仏・霊場巡り	名所旧跡	その他
室戸岬	<b>37.2</b>	5.8	5.1	9.6	3.5	11.6	<b>27.2</b>
モネの庭	<b>36.5</b>	10.6	0.5	9.0	2.1	<b>26.5</b>	14.8
アンパンマン	5.1	3.3	1.5	7.0	0.0	<b>71.4</b>	<b>11.7</b>
龍河洞	<b>34.9</b>	5.6	2.1	11.5	1.2	<b>29.0</b>	15.7
桂浜	11.8	5.4	1.4	14.1	0.9	<b>28.4</b>	<b>38.0</b>
高知城	12.5	3.7	3.7	14.2	0.0	<b>44.0</b>	<b>21.9</b>
土佐和紙工芸村	<b>20.4</b>	4.7	15.2	10.0	0.5	10.5	<b>38.7</b>
黒潮本陣	8.8	5.6	6.4	<b>46.0</b>	0.0	9.2	<b>24.0</b>
四万十川	<b>31.6</b>	5.3	7.8	8.2	2.8	14.9	<b>29.4</b>
足摺岬	<b>34.5</b>	5.4	5.4	9.4	<b>19.9</b>	15.7	9.7
全体	23.2	5.3	4.6	13.7	3.4	26.9	22.9

※背景色+太字は調査地別旅行目的ごとの上位2位まで。



「モネの庭」は“自然見物”が最も多く、次いで、“名所旧跡”も多くなっている。前年同様、女性の旅行者を中心に、モネの庭を主な目的として訪問するケースが多く、室戸岬、中岡慎太郎館などと合わせて観光する旅行者もいた。

「桂浜」は“名所旧跡”と“その他”が多くなっている。前年同様、「桂浜」を旅行の起点として他のエリアへ向かう旅行者が多いことがわかる。また、“食べ物”の割合も高くなっている。

「足摺岬」は“自然見物”と“神仏・霊場巡り”が多くなっている。金剛福寺が近くにあるため、八十八ヶ所の巡礼に合わせて観光する旅行者が多数見られる。

「高知城」は“名所旧跡”と“その他”で半数以上を占めており、前年同様、日曜市や桂浜周辺などの主要観光地と合わせて訪問する旅行者が多く見られた。

「アンパンマンミュージアム」は“名所旧跡”で71.4%を占めており、のいち動物公園や龍河洞など、周辺の観光施設と合わせて観光するケースも多く見られた。

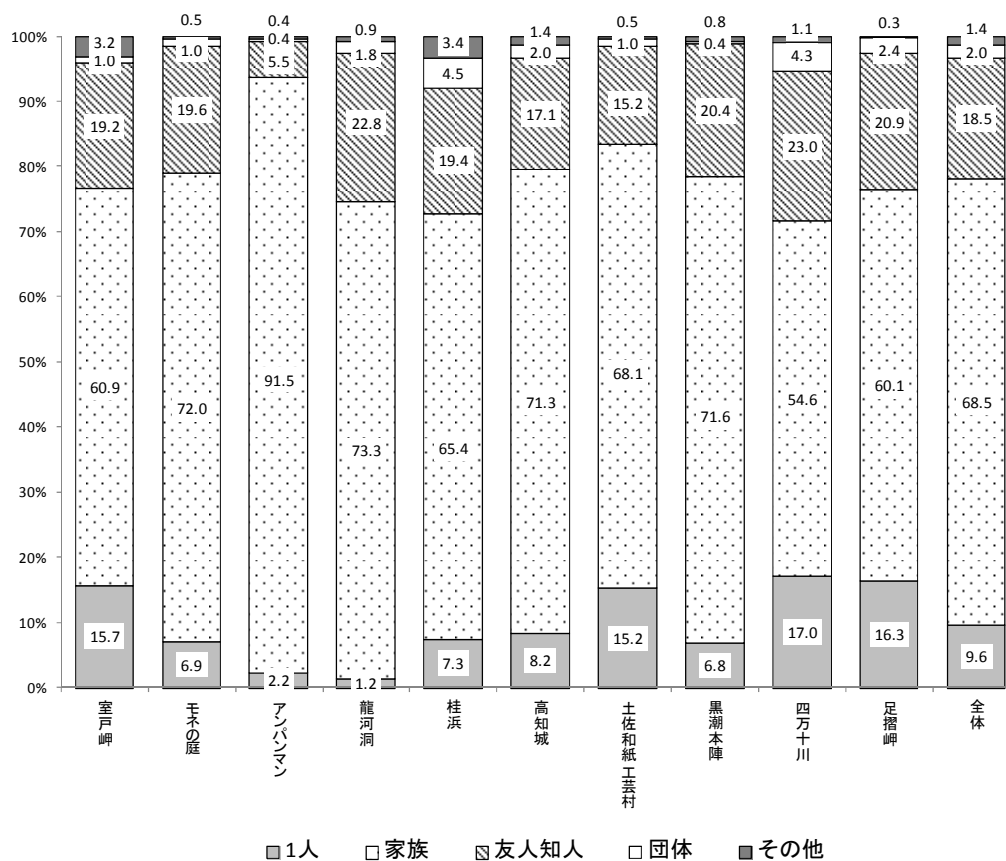
「土佐和紙工芸村」は“その他”と“自然見物”で半数以上を占め、“アウトドア・キャンプ”も多くなっている。ドライブやツーリングの立寄り地点、他の地域との中継地点として利用している旅行者が多く見られた。

「黒潮本陣」は“食べ物”と“その他”の割合が多くなっている。久礼大正町市場での海産物などが目的の旅行者も多く、黒潮本陣での宿泊や温泉、食事を主な目的に訪問している旅行者も多くなっている。

「四万十川」と「室戸岬」は“自然見物”、“その他”が多く、「龍河洞」は“自然見物”、“名所旧跡”が多くなっている。

## 12.2 旅行形態割合

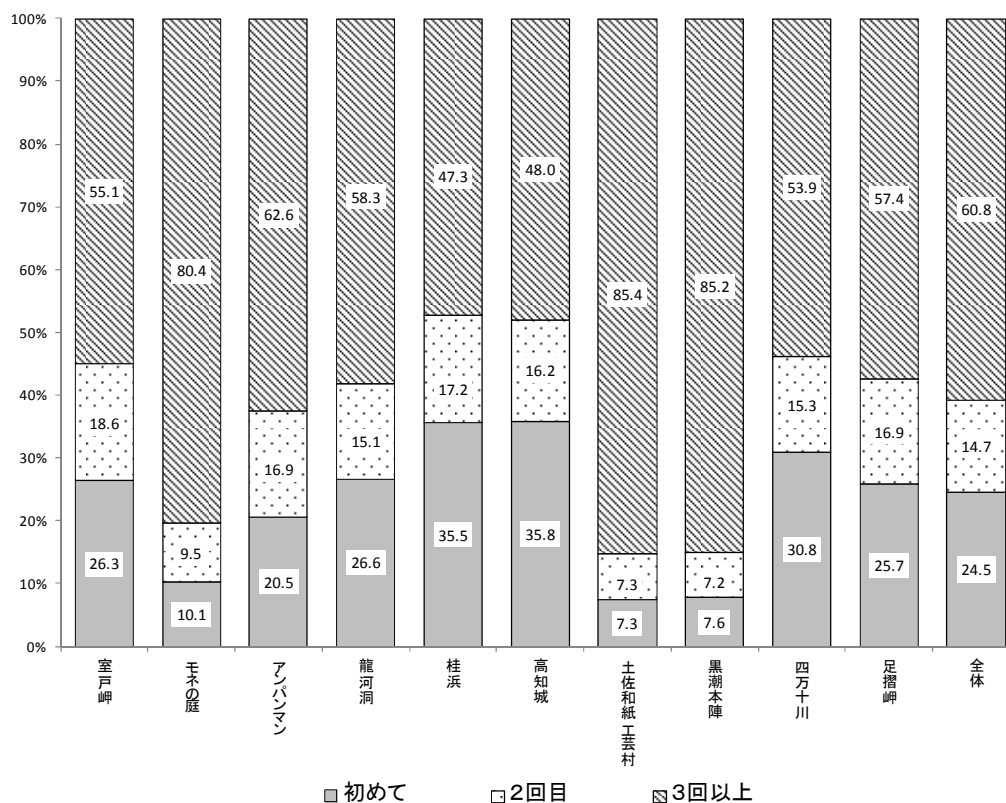
(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [ 25 年 ]



調査地別の旅行形態割合を項目別にみると、「1人」は四万十川、足摺岬、室戸岬、土佐和紙工芸村で10%を超えており、「家族」はアンパンマンミュージアムが91.5%と群を抜いて多く、龍河洞、モネの庭が続いているが、全ての調査地で最も多い旅行形態となっている。「友人知人」は四万十川、龍河洞、足摺岬、黒潮本陣で20%を超えており、「団体」は桂浜が最も多くなっている。

## 12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [ 25 年 ]



(参考 16) 過去来県回数割合(%) [ 25 年、過去 3 年間 ]

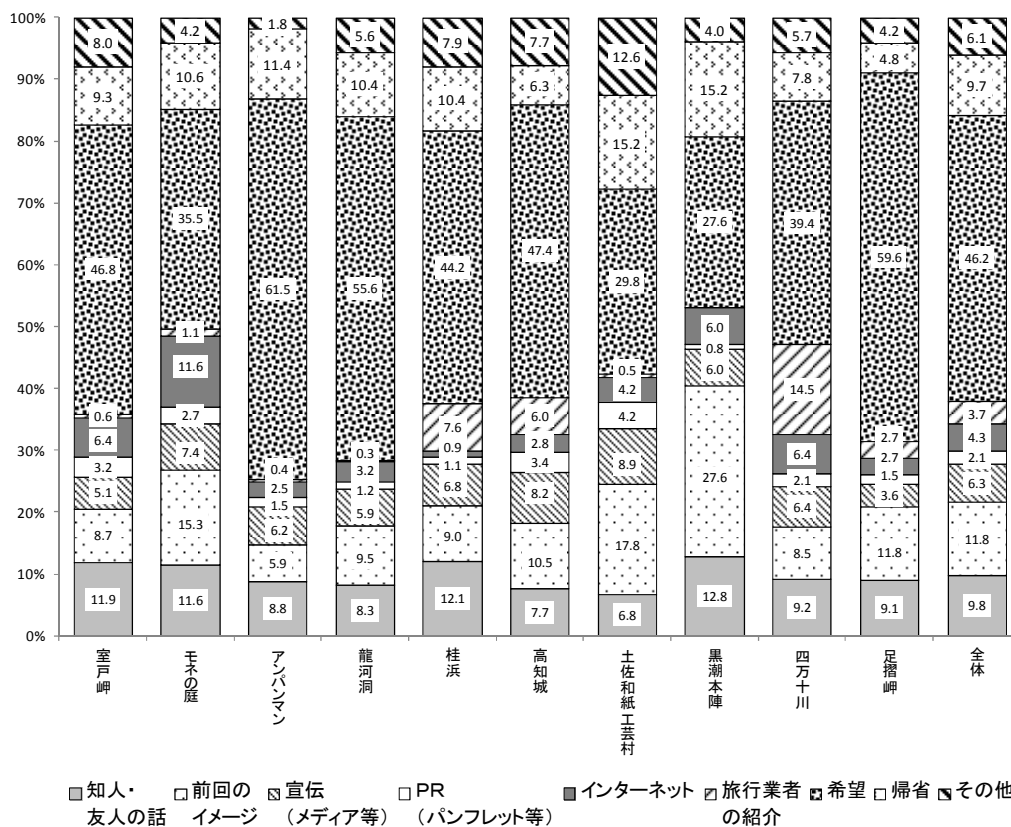
	初めて	2回目	3回以上
22年	21.9	17.4	60.7
23年	24.8	15.1	60.1
24年	24.3	15.3	60.4
25年	24.5	14.7	60.8

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 24.5%、「2回目」が 14.7%、「3回以上」が 60.8%という結果となっている。平成 22 年度の調査から通してみると（参考 16）、「初めて」の割合は過去 2 位となり、前年と比べると 0.2 ポイント増加している。「2回目」は 0.6 ポイント減少、「3回以上」は 0.4 ポイント増加で過去最高となっている。

項目別で割合の多い調査地は、「初めて」は高知城と桂浜、「2回目」は室戸岬と桂浜、「3回以上」は土佐和紙工芸村、黒潮本陣、モネの庭となっている。

## 12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [ 25 年 ]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [ 25 年 ]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR(パンフレット等)	インターネット	旅行者の紹介	希望	帰省	その他
室戸岬	11.9	8.7	5.1	3.2	6.4	0.6	46.8	9.3	8.0
モネの庭	11.6	15.3	7.4	2.7	11.6	1.1	35.5	10.6	4.2
アンパンマン	8.8	5.9	6.2	1.5	2.5	0.4	61.5	11.4	1.8
龍河洞	8.3	9.5	5.9	1.2	3.2	0.3	55.6	10.4	5.6
桂浜	12.1	9.0	6.8	1.1	0.9	7.6	44.2	10.4	7.9
高知城	7.7	10.5	8.2	3.4	2.8	6.0	47.4	6.3	7.7
土佐和紙工芸村	6.8	17.8	8.9	4.2	4.2	0.5	29.8	15.2	12.6
黒潮本陣	12.8	27.6	6.0	0.8	6.0	0.0	27.6	15.2	4.0
四万十川	9.2	8.5	6.4	2.1	6.4	14.5	39.4	7.8	5.7
足摺岬	9.1	11.8	3.6	1.5	2.7	2.7	59.6	4.8	4.2
全体	9.8	11.8	6.3	2.1	4.3	3.7	46.2	9.7	6.1

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位まで。

全体の動機割合は、「本人・家族の希望」が46.2%と最も多くおよそ半数を占めている。次いで「前回のイメージ」が11.8%、「知人・友人の話」が9.8%、「帰省」が9.7%となっている。

項目別で割合が多かった調査地をみると、「知人・友人の話」は黒潮本陣や桂浜、「前回イメージ」は黒潮本陣や土佐和紙工芸村、「宣伝（メディア等）」、「PR（パンフレット等）」は土佐和紙工芸村や高知城、「インターネット」はモネの庭や室戸岬や四万十川、「旅行業者の紹介」は四万十川や桂浜、「本人・家族の希望」はアンパンマンミュージアムや足摺岬、「用務・帰省等」は土佐和紙工芸村や黒潮本陣となっている。

## 13 総括

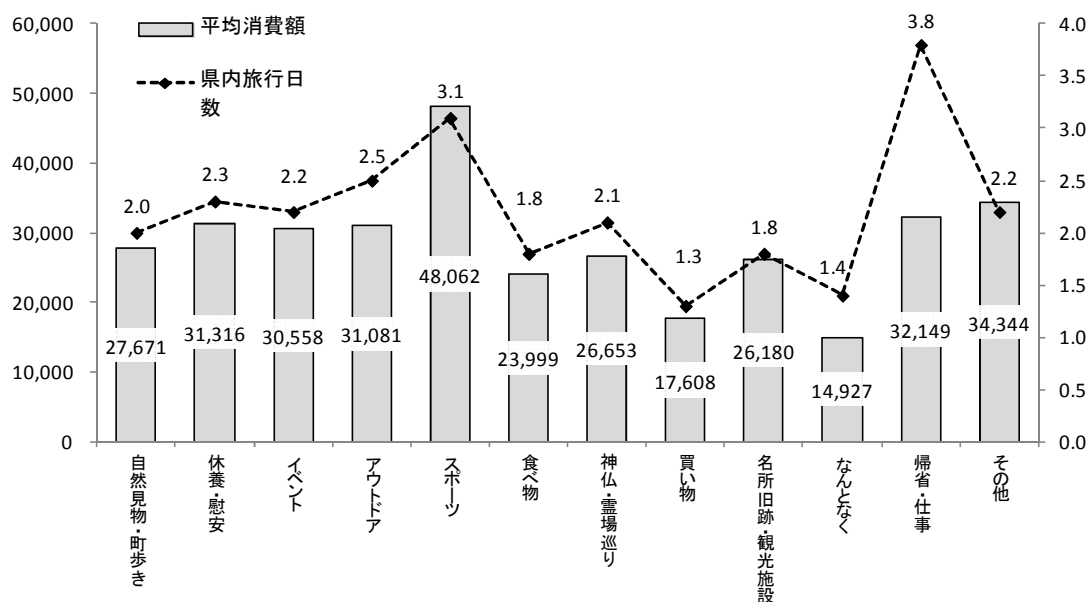
調査で得られた旅行者の声などから、高知県観光がさらなる発展を遂げるためには、以下にあげる取り組みが必要と考えられる。

### 1. 宿泊したくなる観光情報盛りだくさんの周遊モデルコース

県内旅行日数と県内平均消費額は、ほぼ正の相関関係がある(参考17)。そのため、消費額を増加させるためには旅行者の滞在時間を延ばし、宿泊客割合と宿泊日数を増加させる取り組みが有効となる。

その取り組みの一例として、実施三年目を迎え県外旅行者への認知度、利用者数が高まっている、龍馬パスポートを利用したモデルコースの提案が挙げられる。一泊ないし、二泊することを想定した県内各地への周遊ルートに合わせ、龍馬パスポートに参画している観光施設の情報を有機的に組み合わせ提供することが特に効果的と考えられる。

(参考17) 旅行目的別県内平均消費額(円)、県内旅行日数(日) [25年]



## 2. 食事処の情報提供

対面調査時において、「高知が好きで何回も来ているが、いつも昼食で困る」、「観光地近辺に飲食店が少ないから、コンビニのお弁当で済ます」、「昼間においしいカツオのタタキが食べられる店が分からない」といった食事処の情報不足に対する不満の声が、特に帰省客やリピート旅行者から聞く機会が多かった。旅行形態割合をみると、家族連れの旅行者が多いことから、子供同伴でも利用しやすい食事処の情報提供が不可欠だと思われる。

中でも県内各地に存在するご当地グルメは、世代を問わず利用してもらいやすいため、ご当地グルメの内容、および提供している飲食店への案内が明記されたパンフレットの整備拡充、旅行者の目につきやすい設置箇所、案内所等の観光関連スタッフからの情報提供の充実に取り組むことが一例として挙げられる。

## 3. スポーツツーリズムの更なる拡充

旅行目的別に平均消費額と県内旅行日数（参考 17）をみると、観光目的の「スポーツ」で平均消費額が 48,062 円、県内旅行日数が 3.1 日と際立って高くなっている。10 月のねりんピック開催時期と秋期調査と重なった影響もあり、例年に比べて急激な増加となったと考えられる。また、「アウトドア」でも県内旅行日数が 2.5 日と、他の観光目的と比べ高くなっている。しかし、「スポーツ」と「アウトドア」が占める旅行目的の割合は合わせて 6.0%（参考 10）となっており、需要掘り起こしの大きな可能性がある。

従って、スポーツツーリズムを（見るスポーツ、するスポーツともに）さらに拡充していくために、高知龍馬マラソンなどの市民マラソン大会、サイクリングイベント、プロスポーツ等のキャンプ誘致などを継続して行い、その開催を効果が最も期待できる方法で県外へ発信することが求められる。





Q6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した
2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている
3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている

Q7. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。 ※子供や乳幼児も含む

( ) 人  
 2人以上の場合  
 → 1. 家族      2. 友人      3. 職場・学校等の団体旅行      4. その他

Q8. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。 ※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 ( ) 人、2回目の人数 ( ) 人  
 3回目の人数 ( ) 人、4回目以上の人数 ( ) 人

Q9. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたは、高知県の訪問が何回目ですか。

1. はじめて
2. 2回目
3. 3回目以上

Q10. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、高知県の訪問が何回目かご存じですか。 ※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 ( ) 人、2回目の人数 ( ) 人  
 3回目の人数 ( ) 人、4回目以上の人数 ( ) 人

Q11. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。 ※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。

また、この県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

高知県までの主な交通機関 [ ]      高知県内での主な交通機関 [ ]

ここに来る前にいた場所

居住地 → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → 調査地点

交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]

現在地

これから行く予定の場所

調査地点 → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → 居住地

交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]

【表】交通機関

- ① J R 新幹線      ② J R 在来線      ③ 私鉄・地下鉄      ④ モノレール      ⑤ -1 貸切バス
- ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む)      ⑥ 高速バス      ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車      ⑨ タクシー・ハイヤー      ⑩ レンタカー      ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機      ⑬ フェリー      ⑭ バイク      ⑮ その他

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

**【表】 交通機関**

① J R 新幹線    ② J R 在来線    ③ 私鉄・地下鉄    ④ モノレール    ⑤ -1 貸切バス  
 ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む)    ⑥ 高速バス    ⑦ 市内バス・路線バス  
 ⑧ 路面電車    ⑨ タクシー・ハイヤー    ⑩ レンタカー    ⑪ 自家用車、社用・公用車  
 ⑫ 飛行機    ⑬ フェリー    ⑭ バイク    ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※  ←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用	
①交通費	(県内分)	円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分)	円		
③土産代	(県内分)	円		
④飲食費	(県内分)	円		
⑤入場料	(県内分)	円		
⑥その他	(県内分)	円		
⑦バック料金				円
			<input type="checkbox"/> 県内分のみ    もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む	

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせください

※調査票コード  
1. 観\_共通\_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	